

23 復興をめざして

下の写真を見て、石巻市がどのように復興
に向かったか話し合しましょう。

〇復興に向かう石巻市

ひよりやま み なか ぜ ほうめん
日和山から見た中瀬方面



よし の ちょうしゅうへん
吉野町周辺



お が つ ち く しゅうへん
雄勝地区周辺



震災直後、わたしも避難生活を送っていました。そんな中、ふっこう支援のために石巻にかけつけてくれた多くのボランティアの方々と話すうちに、「助けてもらうのではなく、自分たちで動いていかなくては！」という思いを強くし、「世界で一番おもしろい街」をつくるために動き出すことを決めました。

通りの信号もまだ復旧していない震災の年の7月、石巻地方最大の祭りである川開き祭りを開催するかどうかという状況の中、川開き祭りまでの1週間で、「まちを知り、まちを楽しみ、まちの未来を語る」まちづくりの期間として盛り上げようと始めたSTAND UP WEEK（スタンドアップウィーク）は、その一歩でした。ほかにも、「石巻まちあるきマップ」の作製や、石巻の人々と石巻を訪れる人々の出会いの場となる飲食店をつくるなど、思いついたことをスピード感をもってやってきました。また、石巻の高校生にまちづくりに参加しながら様々なことを学んでほしいという願いから「いしのまき学校」も創設しました。

石巻にはもともと豊かな自然と古い歴史、魅力的な食材があります。震災後は、ふっこうのためにいろいろな場所から人が集まってきたので、多くの人と知り合う機会もふえました。見方を変えると、石巻は今、ものすごくチャンスにあふれているまちなんです。震災前のもとの石巻にもどすというのではなく、新しいまちをつくっていきたい。若者におもしろいと思ってもらえるまちをつくっていくために、これからも様々なことにチャレンジしていきたいと思っています。



いっばんしゃだんほうじん
一般社団法人「ISHINOMAKI 2.0」代表の方のお話

○感じたことや考えたことを書きましょう。
